



全日本学生 RGS 第 10 戦 第 26 回全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会  
2014 年 11 月 02 日 (日) 埼玉県利根川上流域 加須市おとおね童謡のふる里室前発着  
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催: (公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟  
協賛: 株式会社日直商会 株式会社パールイズミ 富士重工業株式会社  
後援: 国土交通省利根川上流河川事務所 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会



Communiqué.03-2(ゼッケン位置再訂正版)

2014 年 10 月 31 日  
大会審判長 倉田 達樹

## 1. スタート間隔について

- 大会要項記載の特別規則では、「原則として 30 秒間隔」としていたが、参加人数と時程表より検討した結果、本大会は「1 分間隔」でスタートするものとする。各自スタート時刻を確認のうえ、遅れない様に準備すること。

## 2. レース中の車両走行について

- コースは道路幅員が狭いため、四輪車は原則として走行出来ない。(救護車等が走る可能性は有り)
- チームカーの伴走は出来ない。
- 違反行為の観察はモータバイク審判員が適宜走行して行う。

## 3. ゴミ投棄の禁止について

- 例年、コース脇へのボトル、食料、包装紙等のゴミのポイ捨てが散見されるが、回収が困難な場面も多々あり、こうした行為が今後の会場借用に支障をきたす可能性もある。これらゴミのポイ捨てに関して一切厳禁とする。
- 上記に反するボトル、食料、包装紙などの廃棄には、3000 円/件のペナルティーを科すものとする。
- その他、大会中に発生したゴミについても、各自で必ず持ち帰ること。

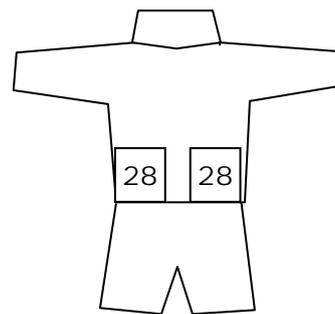
## 4. 無線通信装置の使用

- 競技者間・競技者と監督間の無線通信を、アマチュア無線機を除く日本国内で適法な無線機に限り、競技運営および安全性を損なわない範囲で認める。

## 5. ゼッケン・フレームプレートの取付け

### 2枚

- 本大会では、ゼッケン~~4~~枚(右図) + フレームプレートの着用を義務づける。  
ゼッケンの付け方は右図のようにつけること。なお、ゼッケンとゼッケンの間は最低 5cm 以上空けること。
- ゼッケンは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。  
大会終了時に返却しなかった者および紛失は、ペナルティーの対象となる。
- フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。  
中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側に寄せること。
- フレーム前部に取り付けること不可能な場合、シートピラーに取付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。



## 6. PIT設置場所について

- 本大会のコース内にPITを設ける。羽生スカイ公園そば(141km地点)と男子折り返し地点の 2 か所とする。女子については羽生スカイ公園そばのみの 1 か所とする。各PITに学連より前後の代輪を用意するが、交換は選手自身が自ら行うこと。また、各校にて用意した代車・代輪は、この 2 か所のPIT内においてのみ、交換を認める。